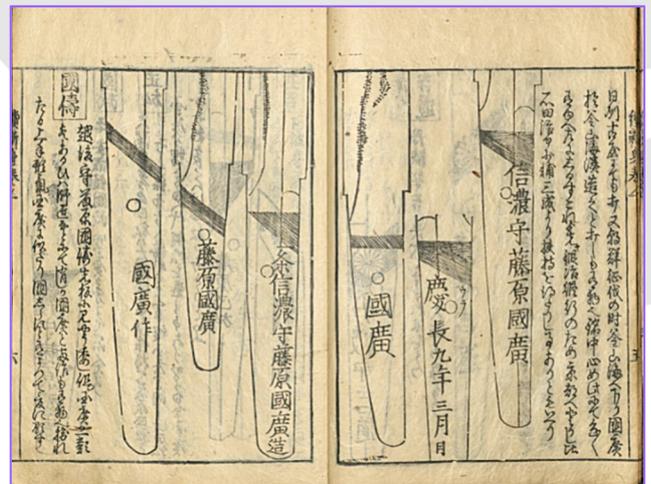


教科書にのらない古典が いっぱい！

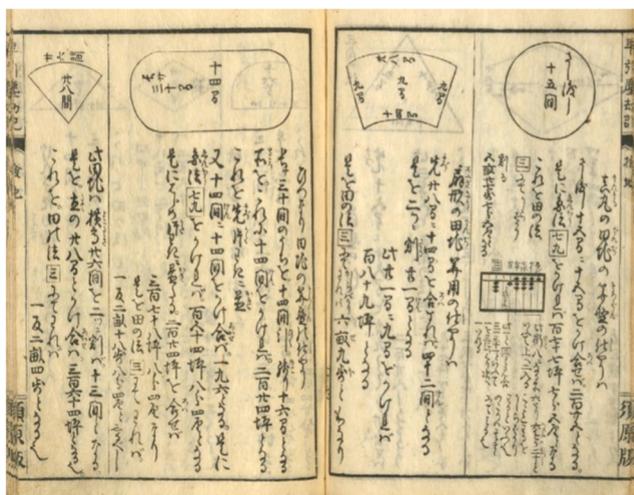
高校の科目のなまえに「**古典**」ってありますね。取り上げられるのは宇治拾遺物語や平家物語、古今和歌集などなど……。でも、それだけが古典のすべてではないのです。ありとあらゆる分野に「古典」は存在します。その一部をここでは紹介しましょう。



妖術使いの出る絵入小説（児雷也豪傑譚）



刀剣の銘について知る本（新刃銘尽後集）



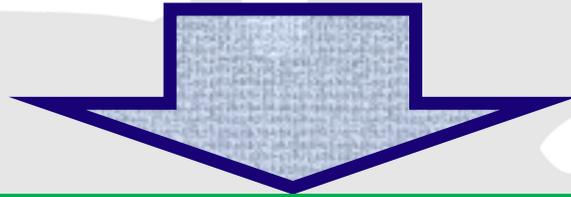
むかしの数学の本（早引塵劫記大成）



カブキ紹介の本（劇場一観頭微鏡）

ホンモノの古典って どんなものなの？

さあ、実際に古典籍を手にとってみてください。どんな形をして、どのように記されているか？**教科書の古典と何が違うのか**を考えてみましょう。

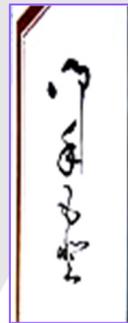


**テーブルの本にふれてみよう！
読んでみよう！**

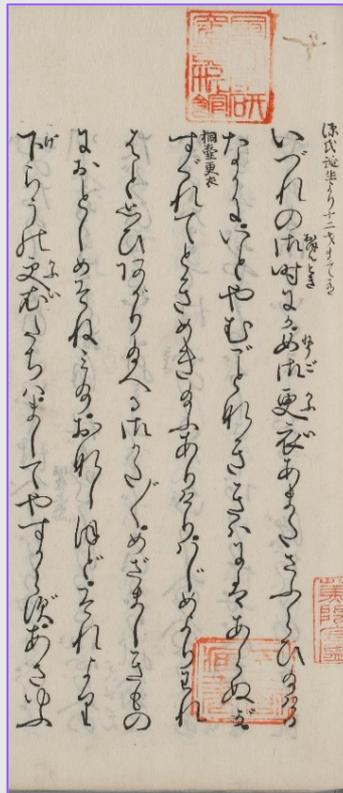
古典の文字

◆ 入門 日常生活でみかけること
ありません？。

はし袋 看板



◆ 有名な古典作品の冒頭文です。
読めるかな。



◆ 蔵書印などに用いられる文字です。
最近ハヤリかも？



国文研では現在大きなプロジェクトが進行中です。

それは、

日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画

といいます（ちょっと長い名称だけど）。

日本のあらゆる分野の**古典30万点をすべて画像化**し、Web上で公開して、世界の研究者たちが自由に使える環境をつくり、古典を利用した世界規模の新たな学問を創り上げ、一緒に研究していこうという計画なのです。

（2014年度～2023年度）

いま54000点が公開中！

右のほかにもこのP Jでは若いみなさんに古典に親んでもらえるいろいろな取り組みを考えていきます。



www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/

一般公開で国際シンポジウムなどを開催しています。

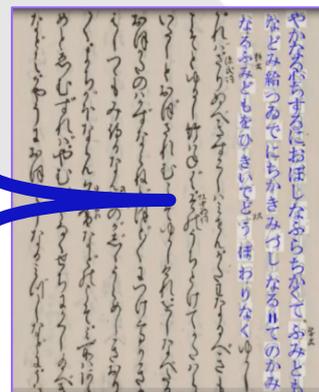
HPでは、日本語と英語でP Jを紹介しています。

ニュースレターなどを発行し、P Jを紹介しています。

【古典×イノベーション<技術革新>の例】

古典の文字を自動的にテキストに変換

国文研ではこうした技術開発にも取り組み、古典を現代に活かす研究を続けています。



古典は知識の宝箱

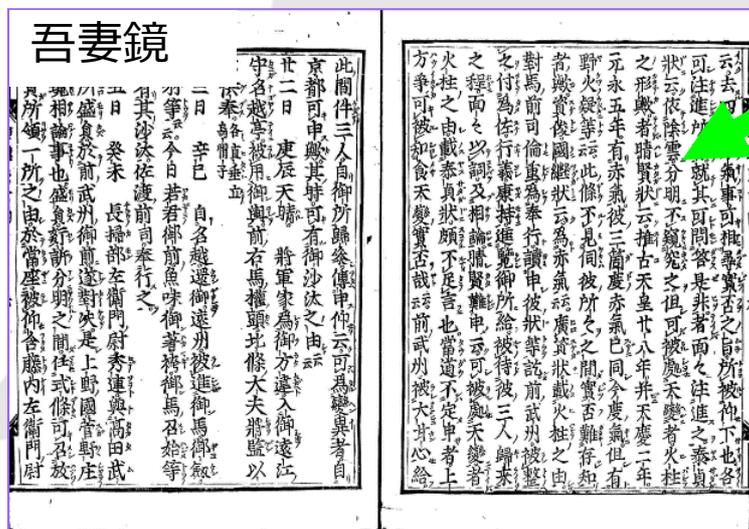
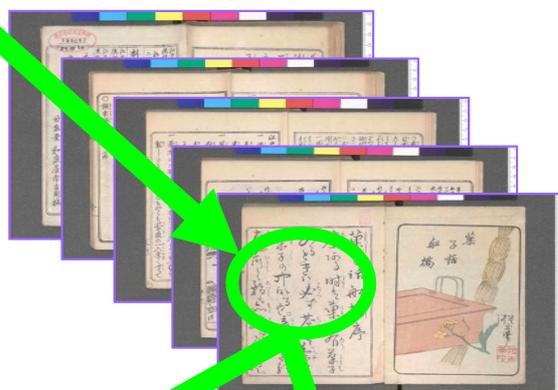
古典に埋もれた情報や知識が、自由に引き出せる**未来**は、もうすぐそこまで来ているんだ！

たとえば… **オーロラ**のことが知りたい！！

古典籍DB を検索

- ・ 画像のまま検索できる技術の開発—つまり皆さんが古典の文字を読めなくても探し出してくれる技術を開発中です。

国文研では、古典籍データベースの充実により、様々な古典籍に眠っている、多彩な情報を自在に取り出し、現代に活用することをめざしています。



猿猴庵随観図絵 (国会図書館蔵)

自然科学の分野（たとえば天災や宇宙の活動など）でも、まだまだ古典の世界から発見されることが多いんだ。